

高島市が設定した令和7年度の「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に係る目標及び実績

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
25212高島市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	市内全域で地域学校協働活動を始めて8年ほどが経ち、事業や取組を進める中で、スタッフは一定確保できているものの、固定化や高齢化が問題となってきた。今後持続可能な取り組みとして進めていくため、活動の幅を広げていくためには、新しいスタッフが必要であるが、余裕が無い人が多くなかなか確保が困難な状況が続いている。	前年度の事業や取組を中心に、当年度の取組を行うだけではなかなか新しいスタッフに参加してもらうことが困難であることから、新たなスタッフ獲得を目的とした、新たな取組を企画する。	令和6年度については、新たなスタッフを獲得することを目的とした新たな企画が無く、効果的に新たなスタッフを獲得することはできなかった。そこで、令和7年度はスタッフ獲得へ向けた新たな企画を検討することとする。	新しいスタッフの確保を目指します。新たなスタッフを獲得することは、継続的に活動を行うことができる人数が確保できるだけでなく、新しい考え方や新しい知識といった「新しい刺激」を得ることが出来る。このことは、組織の新陳代謝や活性化につながることから、今まで以上に地域学校協働活動が活発になることが期待できる。	ボランティアスタッフとして新たに参加することとなった人の人数	10	人	30	50	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 新規ボランティアスタッフについては、市内で行われている様々な活動の場における推進員の地道な声掛けや、マッチングなどにより増加傾向にある。これは、地域学校協働活動の取組が徐々に地域にも認識され、その関心が高まった結果として評価できる。スタッフ数が増加したことで、九九道場や職業体験学習など、地域の方からの学びやつながりが生まれた。 今後は引き続き、新たなスタッフの獲得に向けた取組の企画とボランティアスタッフの継続性が求められる。